

月莖梢ニ花ヲ發ス筆頭菜ニ同ジコノ草莖ニ枝ナシ若シ梢ヲ摘去ル時ハ節ニ對シテ細枝ヲ生ズ今梓人用ル所ノ者ハ鹽湯ヲ以略煮過シテ乾シタルモノ故藥用ニ入ルニ堪ズ生ナルヲ乾シテ用ユベシ一種木ドクサハ形長大ニシテ節ゴトニ枝ヲ生ズ又レグマモ木ドクサト云同名ナリ

〔農業全書 藥種之類〕木賊

木賊トリノは藥にも用ゆ細工につかふ時はとくさと云庭にうへてもめづらし正月に舊莖を悉く切取べし新莖生じて美なり本草曰四月に取べし又曰取に時なしうゆる地は細かなる肥地のやはらかなるにうへえばく水をそげばくきふとくのびやかにして用ゆるにたへたり

〔草木六部耕種法八 需藥〕木賊ハ砂眞土ノ少シク濕氣アル地ニ宜シ地ノ堅ク實シタルニ宜カラズ根ヲ分植ルニハ秋分頃ヲ時トス既ニ活付タルノ後ハ魚洗水米泔水等時々澆カルトキハ甚能ク肥太繁生スル者ナリ毎年ノ早春舊葉ヲ悉ク刈採ベシ莖葉新ニ生ジテ其色甚ダ美ナリ

〔令義解三 賦役〕凡略 其調副物〇 註 正丁一人略 木賊六兩

〔延喜式十三 大舍人〕木綿六斤木賊十五兩十二月五日申省

〔延喜式十五 內藏〕年中所造御梳三百六十六枚〇 註 所須〇 中 木賊大三兩柳篋四合三月中旬具數申省

〔延喜式十七 內匠〕御斗帳一具〇 中 洗刷料油四合木賊四兩

〔延喜式二十三 民部〕年料別貢雜物 信濃國中略 木賊二〇 中略 右別貢雜物依前件

〔延喜式三十四 木工〕年料 伊豫砥五顆木賊大二斤磨床案

〔延喜式四十九 兵庫〕凡御梓弓一張〇 中 木賊小一兩三分錯料

〔枕草子三〕草は

とくさといふ物は風にふかれたらん音こそいかならんとおもひやられておかしけれ